

- 問1 北海道二セコ町の月別外国人宿泊者数は12月から3月にかけて突出して多く、産業別の就業者数割合では飲食業・宿泊業が17.8%で最も高い数値を示しています。これらのデータから読み取れる地域の特徴として、最も適切な記述を選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 外国人観光客の宿泊が夏場に集中しているため、冬場は観光関連産業の就業者が減少し農業へ移行している。

2. 全国の平均と比較して製造業の就業者割合が極めて高く、外国人観光客は年間を通じて均等に宿泊している。

3. ウィンタースポーツを目的とした外国人観光客の増加に伴い、飲食・宿泊関連の産業が町の中心的な雇用を生み出している。

4. 夏季の観光需要の高まりに合わせて外国人観光客が集まるため、年間を通じて農業の就業者数が最も多い。
- 問2 北海道内の平均気温の分布を示した資料に基づくと、一月の平均気温の差は約九度、八月の平均気温の差は約九度の範囲で分布しています。これらの地域差に関する説明として、沿岸部の稚内市付近と内陸の高標高地点の比較に基づき、正しいものを次から選びなさい。 (2016年 京都府公立入試 類似)
1. 稚内市などの沿岸部では、標高が高い地点よりも八月の平均気温が高くなる傾向がある。

2. 稚内市は最北端に位置するため、一月の平均気温は道内で最も低いマイナス十二度を下回る。

3. 標高が高い地点では、地形の影響で八月の平均気温が二十七度を超える。

4. 沿岸部と高標高地点を比較すると、一月よりも八月の方が地点間の気温差が小さくなる。
- 問3 日本の地理に関連して、北海道の知床や鹿児島県の屋久島は、その貴重な自然環境が評価され、「世界遺産リスト」に登録されています。このように、世界の文化遺産や自然遺産の保護を推進している国際機関はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 世界貿易機関

2. 東南アジア諸国連合

3. 国連児童基金

4. ユネスコ
- 問4 北海道の都市に見られる歴史的な遺産について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
1. 函館には、北前船の寄港地として栄えた当時の面影を残す石造りの倉庫群が運河沿いに並んでいる。

2. 函館には、戊辰戦争の最後の舞台となった、西洋式城郭の技術を用いた五稜郭が残されている。

3. 小樽には、アイヌの人々と交易を行うための拠点として、江戸時代に松前藩によって奉行所が置かれた。

4. 小樽には、明治時代以降の開拓の拠点として、赤レンガ造りの北海道庁旧本庁舎が建てられた。
- 問5 日本の主要都市における1月の気候データにおいて、1月の平均気温がマイナス5度付近と極めて低く、かつ1月の降水量が100ミリメートル未満という特徴を持つ都市として最も適切なものを選んでください。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 札幌市

2. 金沢市

3. 宮崎市

4. 大阪市
- 問6 北海道の二セコ町における産業と観光の特徴に関する説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 夏場に避暑客を中心とする外国人観光客が多く訪れ、就業者割合では農業が最も高い割合を占めている。

2. 夏場に避暑客を中心とする外国人観光客が多く訪れ、就業者割合では飲食業や宿泊業が最も高い割合を占めている。

3. 冬場にスキー客を中心とする外国人観光客が多く訪れ、就業者割合では飲食業や宿泊業が最も高い割合を占めている。

4. 冬場にスキー客を中心とする外国人観光客が多く訪れ、就業者割合では農業が最も高い割合を占めている。
- 問7 北海道の平野部について述べた次の文のうち、石狩平野の特徴として最も適切なものはどれですか。なお、北海道の地形において石狩平野は西部に、十勝平野は東部に位置しています。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 険しい山々に囲まれた盆地であり、夏に高温になる気候を活かした稲作が行われている。

2. 火山灰が厚く堆積した土地を活かし、ジャガイモやテンサイなどの畑作が行われている。

3. かつての泥炭地を土地改良によって克服し、大規模な水田地帯となった。

4. 冷涼な気候と広い土地を利用し、乳牛を飼育する酪農が最も盛んである。
- 問8 日本の小麦や小豆の生産割合に関する統計において、全国の約6割（61.8%）を占めて第1位となっており、第2位の福岡県（7.6%）や第3位の佐賀県（5.7%）を大きく引き離している都道府県はどこですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. 秋田県

2. 北海道

3. 鹿児島県

4. 新潟県
- 問9 札幌と東京の月平均気温および降水量を比較した際、札幌の気候的特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. 夏の気温は東京と同程度まで上昇するが、冬は乾燥した北東の季節風の影響で降水量が減る。

2. 一年を通して月平均気温が東京よりも高く、12月から2月の降水量は東京より少ない。

3. 一年を通して月平均気温が東京よりも低く、12月から2月の降水量が東京を上回る。

4. 1月の平均気温は0度を上回るが、北西の季節風の影響で冬の降水量が東京より多くなる。
- 問10 日本の諸地域の気候区分において、北海道の札幌市などで見られる、冬の寒さが厳しく1月の平均気温が氷点下になる気候帯の名称として適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 冷帯（亜寒帯）

2. 温帯

3. 乾燥帯

4. 熱帯
- 問11 農業従事者数と耕地面積の関係を示した資料において、他地域が「労働力が多く、耕地面積が狭い」傾向にあるのに対し、北海道は「労働力が少なく、耕地面積が極めて広い」という独自の特徴が見られます。このような北海道の農業の特色を端的に説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. 伝統的な手作業を中心とした多角経営

2. バイオテクノロジーを駆使した都市近郊農業

3. 労働力集約型による小規模経営

4. 大型の機械を活用した大規模経営
- 問12 北海道の石狩平野における大正時代から現代にかけての地形の変化について、統計や地図上の情報を文章で説明した次の記述のうち、正しいものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 山間部の流路を直線化したことで大規模な扇状地が形成され、現在は一面の畑地となっている。

2. 海岸付近の流路をあえて蛇行させることで砂浜の浸食を防ぎ、現在は広大な塩田として利用されている。

3. 河川を完全に埋め立てて住宅地としたため、現在は鉄道を中心とした放射状の道路網が広がっている。

4. 蛇行していた河川が直線的に改修され、それに伴い基盤目状の道路が整備され、橋の数も増加した。
- 問13 北海道西部に位置する石狩平野は、かつて植物の遺体が十分に分解されずに堆積した「泥炭地」と呼ばれる湿地帯が広がっており、農業には不向きな土地でした。この地域において、他の土地から土を運び入れる「客土」などの土地改良が行われた結果、現在ではどのような農業が盛んに行われていますか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 十勝平野で見られるような大規模な畑作

2. 大規模な機械化による水田稲作

3. 根柢台地で主流となっている大規模な酪農

4. 冷涼な気候を活かしたリンゴなどの果樹栽培